

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白腐病	灰色腐敗病	苗立枯病	灰かび病	小菌核病	黒腐菌核病	黒斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	腐敗病	りん片腐敗病
クブシールドFL	無機	M1		-	-														◎
コサイド3000DF	無機	M1		-	-													◎	◎
ドイツボルドーA水	無機	M1		-	-		◎												
ベニドー水	無機	M1		-	-													◎	
オンリーワンFL	DM I	3		1	3			◎		◎									
トリフミン水	DM I	3		*b *e	1	☆											◎		
アミスター20FL	Q o I	11		1	4		◎	◎		◎									
ストロビーFL	Q o I	11		14	3			◎		◎									
ファンタジスタ顆水	Q o I	11		1	5			◎		◎									
メジャーFL	Q o I	11		1	3		◎	◎		◎	◎								
アフエットFL	アミド	7		1	4			◎		◎		◎							
カンタスDF	アミド	7		1	3			◎		◎									
レーパスFL	アミド	40		1	2		◎	◎											
バリダシン液5	抗生物質	U18		3	5													◎	◎
ポリオキシシンA L水	抗生物質	19		3	5					◎		◎							
スミレックス水	ジカルボキシミド*	2		1	5			◎		◎		◎							
ロブラール水	ジカルボキシミド*	2		7	3			◎		◎				◎					
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		1 *b	*c			◎				◎							
トップジンMゾル	ベンゾイミダゾール	1		1	5			◎											
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		1 *a *d *e	6 1			◎		◎								◎	
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		3	5		◎	◎	◎		◎			◎	◎				
ペンコゼブ水	有機硫黄	M3		3	5		◎			◎				◎					
キノンドー水40	有機銅	M1		14	3														◎
ヨネボン水	有機銅	M1		7	5		◎			◎									◎
リブレックス粉	有機リン	14		*f	1					(R)									
オーソサイド水80	他	M4		1	5		◎		◎	◎									
カナメFL	他	7	劇	1	4			◎		◎		◎							
ケンジャFL	他	7		3	4					◎									
スターナ水	他	31		7	5														◎
セイビアーFL20	他	12		1 *b	3 1			◎		◎		◎		◎					
ダコニール1000FL	他	M5		7	6		◎	◎			◎								
パレード20FL	他	7		1	3			◎		◎		◎							
ピシロックFL	他	U17		1	3		◎												
フロンサイドSC	他	29		3 *b	5 1		◎	◎	◎		◎								
フロンサイド粉	他	29		*e	1								◎				◎		
ベルコートFL	他	M7		1	5			◎		◎		◎							
ランマンFL	他	21		7	4		◎	◎											

タ
マ
ネ
ギ

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	使用条件	べと病	白腐病	灰色腐敗病	苗立枯病	灰かび病	黒菌核病	黒腐菌核病	黒斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	腐敗病	りん片腐敗病
スイッチ顆水	AP・他	9・12		1	3					◎									
オルフィンプラスFL	DMI・アミド	3・7		1	3			◎	◎		◎								
シグナムWDG	QoI・アミド	11・7		*b 7	1 3		◎	◎	◎		◎								
アミスターオブティFL	QoI・他	11・M5		7	4		◎			◎									
ジャストフィットFL	アミド・他	43・40		7	3		◎	◎											
ジャストミート顆水	アミド・他	17・12		1	3					◎									
フォリオゴールドFL	アミド・他	4・M5		7	3		◎	◎		◎									
ベジセイバーFL	アミド・他	7・M5		7	4		◎	◎		◎		◎							
アグリマイシン-100水	抗生物質・抗生物質	41・25		7	5													◎	
カスミンバリダシン液	抗生物質・抗生物質	24・U18		14	5													◎	
アタッキン水	抗生物質・ベンゾイミダゾール	25・1		7	5			◎										◎	
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		14	5													◎	
スミブレンド水	ベンゾイミダゾール・シカルボキシミド	10・2		7	5					◎									
ゲッター水	ベンゾイミダゾール・ベンゾイミダゾール	10・1		7	5			◎											
ニマイバー水	ベンゾイミダゾール・ベンゾイミダゾール	10・1		7	5			◎		◎									
リドミルゴールドMZ顆水	有機硫黄・アミド	M3・4		7	3		◎	◎											
ホライズンDF	他・QoI	27・11		3	3		◎	◎											
カセット水	他・抗生物質	31・24		14	5													◎	
ポリベリン水	他・抗生物質	M7・19		3	5			◎		◎									
カーゼートPZ水	他・有機硫黄	27・M3		3	3		◎	◎											
カンパネラ水 ベネセット水	他・有機硫黄	40・M3		7	3		◎	◎											

タ
マ
ネ
ギ

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	使用条件	べと病	白粉病	灰色腐敗病	苗木立枯病	灰色かび病	黒菌核病	黒腐斑病	さび病	乾腐病	軟腐病	腐敗病	りん片腐敗病
ナレート水	他・有機銅	31・M1		14	3	◎											◎	
カーニバル水	他・他	40・M5		7	3	◎◎				◎								
ドーシャスFL	他・他	21・M5		7	4	◎				◎								
ブリザード水	他・他	27・M5		7	3	◎◎				◎								
プロボーズ顆水	他・他	40・M5		7	3	◎◎				◎								
ベトファイター顆水	他・他	27・40		7	3	◎◎												

*a: 移植直前3分間苗根部浸漬 *b: 定植直前 *c: 6回以内(但し定植後は5回以内)

*d: 播種前(育苗培土混和) *e: 定植前 *f: 播種前

◎: リゾクトニア菌による病害

☆: セル成型育苗トレイまたはペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	タ マ ネ ギ バ エ	タ ネ バ エ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	シ ロ イ チ モ ジ ヨ ト ウ	ネ ギ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ケ ラ	コ オ ロ ギ
ベネビアOD	ジ ^ア ミト [°]	28		14	3		◎	◎				◎	◎					
ディアナSC	ス ^ピ ノシ	5		1	2			◎	ネ			◎	◎					
アドマイヤー顆水	ネ ^コ チノイト [°]	4A	劇	14	2	☆	◎											
ベストガード溶	ネ ^コ チノイト [°]	4A		1	2		ギ											
モスピラン顆溶	ネ ^コ チノイト [°]	4A	劇	7	3		◎											
パダンSG溶	ネ ^イ ストキシ	14	劇	1	3		◎											
リーフガード顆水	ネ ^イ ストキシ	14	劇	3	3		ギ	ネ										
アグロスリン水	ビ ^レ スロイト [°]	3A	劇	7	5		◎											
アグロスリン乳	ビ ^レ スロイト [°]	3A	劇	7	5			◎	ネ			◎						
アデオン乳	ビ ^レ スロイト [°]	3A		7	5		◎				◎		◎					
ガードベイトA粒	ビ ^レ スロイト [°]	3A		*b	5										◎			
スカウトFL	ビ ^レ スロイト [°]	3A	劇	1	5		ギ											
ペイオフME液	ビ ^レ スロイト [°]	3A	劇	14	4		ギ											
マブリックEW	ビ ^レ スロイト [°]	3A	劇	7	2		ギ											
アニキ乳	マ ^ク ロイト [°]	6		1	3							◎	◎					
オルトラン水	有機リン	1B		21	5		ギ											
サイアノックス乳	有機リン	1B		14	3		◎											
ジェイエース溶	有機リン	1B		21	5		ギ											
ショットガン乳	有機リン	1B	劇	21	2		ギ											
スミチオン乳	有機リン	1B		21	2		◎	◎										
ダーズバン乳40	有機リン	1B	劇	21	2		ギ	ネ										
ダイアジノン乳40	有機リン	1B	劇	21	2		◎	◎	ネ	◎	◎							
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*a	2					◎	◎						◎	◎
マラソン乳	有機リン	1B		7	6		◎	◎	◎									
アクセルベイト粒	他	22B		1	3										◎			
ウララDF	他	29		7	2		ギ											
グレーシア乳	他	30		7	2		ギ	ネ										
コルト顆水	他	9B		1	3		ギ	ネ										
ハチハチ乳	他	21A	劇	1	2		◎											
ファインセーブFL	他	34	劇	3	3		◎											
プレオFL	他	UN		3	2		ギ					◎	◎					
ビリーブ水	ビ ^レ スロイト [°] ・IGR	3A・15	劇	7	3		ギ											

*a:播種時又は定植時 *b:生育初期 *c:定植前日～定植時

ギ:ネギアザミウマ ネ:ネギハモグリバエ 幼:幼虫

☆:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットで育苗している苗に灌注処理する。なお、この使用方法は、土耕栽培による苗には使用できない。

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雨よけ栽培を行う。 2. 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 プロポーズ顆粒水和剤 1000倍 ホライズンドライフロアブル 2500倍 リドミルゴールドMZ(顆水)● 500～1000倍 3. 全身感染している株は、早期に抜きとり処分する。 	ネギの同項目参照 ●耐性菌を生じる恐れがあるので連用しない。
	収穫後	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死葉などの伝染源を畑に残さない。 	
黒斑病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 肥料切れすると発生しやすいので、肥培管理に注意する。 2. 発生前から次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ペンコゼブ水和剤 400～600倍 ロブラール水和剤 1000倍 	ネギの同項目参照
	収穫後	<ul style="list-style-type: none"> ・枯死葉などの伝染源を残さないようにする。 	
萎縮病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・ネギ畑の近くに苗床を設けない。 	
	苗床期	<ul style="list-style-type: none"> ・苗床中の被害株は見つけ次第すみやかに抜きとる。 	
	定植期	<ul style="list-style-type: none"> ・アブラムシ類の項を参考にアブラムシ類を防除する。 	
灰色腐敗病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・有色種を栽培する。 	収穫期(4月下旬)に多雨のときや貯蔵中に発生が多い。白色種に発生多く、有色種に少ない。有色種も有色の外皮をはぐと感染しやすくなる。
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・発生期に次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スミレックス水和剤 1000倍 セイビアーフロアブル20 1500倍 ベルコートフロアブル 1000倍 	
	収穫期・貯蔵中	<ol style="list-style-type: none"> 1. 晴天の日に球を傷つけないように収穫し、よく乾燥させて冷風で風通しのよい所に貯蔵する。 2. 貯蔵中の発病球はすみやかにとり除く。 	

タマネギ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
さび病	生育期	・発生を認めたら、初期に次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍	春季に雨が多いときに多発しやすい。
アブラムシ類		1. 寒冷紗による被覆育苗を行う(春まきでは発芽揃～6月上旬、秋まきでは発芽揃～12月中旬)。 2. シルバーテープを設置してアブラムシ有翅虫の飛来を防ぐ。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ダイアジノン乳剤40 1000倍 マラソン乳剤 2000～3000倍	
ネギアザミウマ	生育期	1. 反射性マルチを使用する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ディアナSC# 2500～5000倍 ビリープ水和剤 1500倍 マブリックEW 3000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤# 2000倍	#アザミウマ類での登録
タマネギバエ・タネバエ	播種時または定植時	・次の薬剤を散布する。 ダイアジノン粒剤5 3～5kg/10a	作付前は、全面又は作条に散布し、土壤混和する。 作物生育中は、作条処理して軽く覆土する。